

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立 亀田 中学校

1 課題

めあても持ち、学びとる生徒の育成 ～学力向上のための手だてと指導のあり方～

- ・基礎・基本の確実な定着を図る工夫
- ・日常の教育活動・実践に生きる研修の推進

2 課題解決の具体策

- ①学力に応じた指導
- ②学習意欲を高める取り組み
- ③教材開発の取り組み
- ④授業評価の実施

3 取組の概要

①について
本校では、一斉授業における取り組みを中心として、学級集団の機能を生かした実践を行っている。具体的には、「スモールステップ」「プレテスト・ポストテスト」「例文・導入の問題簡易化」「丹念な机間巡視」等を単元、授業内容に応じて実践している。

②について
「わかる」「できる」「楽しい」「自分が向上した」の一連の思いを継続した学習・学校生活を送ることができるようにする。そのために、「基礎・基本の徹底」「目標の明示」「賞賛・激励」「指導と評価の一体化」のサイクルを念頭に各教科・教師が実践に取り組んでいる。

③について
学力向上に向けてのアプローチの一つとして、教材開発の取り組みを行っている。ただし、ここでいう教材開発は、狭い意味での教材開発ではなく、「座席表授業案」「教師の解釈」「授業内容は子どもとつくる」「仮説実験授業」「多様な意見を引き出す発問」「指導言の分類」「制約の中の自由（不自由が表現を大きくする）」「得意技で教える」等である。これらをすべて行うのではなく、単元、1時間の授業の中で、指導計画の中に意図的に組み入れていくということである。

④について
今年度も、授業改善及びその検証のために、教師全員が授業評価を実施している。また、全教師が、授業改善のために授業研究（公開授業）を全員が行っている。

※昨年度までの研究の柱の一つであった「学習のスキル」指導の集大成である『勉強法のヒント』については、今年度も改訂を加え、教科開き、テスト前、長期休業前など時機を見ての活用を行っている。

4 成果と課題

○校内研究主題のキーワードを「学力向上」として4年が経過した。本校では、研究部が、学力向上のための様々な切り込み口を提示し、各教科・教師が創意工夫しながら日常の授業・家庭学習の充実に取り組んでいる。全国学力調査・CRT検査等の結果を見ると、徐々にではあるが、その成果が現れてきていると考える。

●本校のような大規模校においては、学力向上と日常の生徒指導は表裏一体といえる。新教育課程完全実施に向け、生徒指導の機能を生かした日常の実践を、今以上に重視していかなければならないと考える。